

# 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【川通中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt; 漢字の書き取りや2ケタの計算など基礎的・基本的な知識・技能について定着している生徒と課題のある生徒との間に個人差が大きい。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 基礎的・基本的な内容を定着させるために個別に必要な支援が必要になる。</p>	<p>⇒ 「前時の内容の確認」「基礎基本の確認」や「授業の振り返り」等を教員が意識し、生徒に働きかける時間をとる。また、スタディサプリやドリルパーク等を活用し、基礎的・基本的な内容の反復と習熟に取り組む。【学年・教科の実態に応じて5分程度実施】 ・基礎学力の向上を目指し、川通中チャレンジカップ(KcC)を5教科で実施する。【毎学期1回以上実施】</p>
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt; 表やグラフ等の特徴を的確に捉え、それを文章で表現する力に課題がみられる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 表やグラフ等の特徴や傾向を捉え、言葉や数を用いて表現する活動を、教科横断的な視点で取り組むことが必要。また、他者の意見を参照し、表現の方法を学ぶ時間も必要になる。</p>	<p>⇒ 教科や「STEAMS TIME」における生徒の探究的な活動を通して、特徴を捉え、表現する場面を設定し、実施する。【毎学期複数回実施】 ・「Teams」や「マイルストーン」などを活用して思考から表現までの過程を可視化し意見の共有や協働作業を行う。【R7年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が70%以上】。</p>

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		<p>調査の振り返り(4月)</p> <p>①児童生徒による振り返り</p> <p>②調査問題の解説</p> <p>③振り返りの終了報告</p>
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)